

## 入学までに出来たらいいな



- “文字を素早くきれいに書く力”の土台は、文字の形を正しく見分ける「**左右**」の位置関係がわかる事が大切です。
  - (同封されている「お子様の“ひし形を書き写す検査”」で、上手にひし形が書けていますか。)
- “文字を使った学習”の土台は、「会話をする力」に合わせて「**音韻意識**」が育っている事が大切です。  
おんいん いしき
  - (同封されている「お子様の“逆さま言葉の検査”」で、3文字の逆さまことばを3問以上正解していますか。)

1

- 「入学に向けて」: 「それ・そこ・ここ」から「左」「右」を使った会話に少し変えて「まんなか」を瞬時に理解できるように。



2

## おんいん 「音韻意識」が育ちの途中にある子ども達への 子育ての工夫

- 子ども達の音韻意識(例:「かえる」は、50音の「か」・「え」・「る」が順番に並んでいる事を瞬時に分かる力)が身につく年齢は、おおむね6歳ごろからです。(就学前の今がとても大切な時期です。)
- 「音韻の言葉遊び」を普段の遊びに少しでも取り入れることで、音韻の意識が身についてきます。
- 音韻への取り組みを「訓練・トレーニング」の様に厳しくすると、子ども達は嫌がってしなくなるので、「遊び」として楽しめると良いでしょう。

3



音韻を見える形にして、意識を育てる遊び

50音の文字は、書けなくても良いので大人と一緒に言葉を順番に分解してあげましょう。子どもには、「1番目の言葉は?」「2番目の言葉は?」と、問いかけましょう。「反対から言うと?」までできたら素敵です。



そう、2番目は「かえる」の「え」だね♡



4